



2013 - 2014 年度地区目標  
奉仕を实践し夢を未来に届けよう

# 天童東ロータリークラブ

ガバナー年度を楽しもう 我がクラブを楽しもう 仲間とのふれあいを楽しもう

RI 第 2800 地区 第 3 ブロック・認証加盟日 1985 年 4 月 11 日  
認証番号 No.1653 例会日・毎週水曜日 12:30～13:30 例会場・天童ホテル  
会長 武山 茂 幹事 野川晶弘 クラブ会報委員長 今田治雄  
例会日 2014 年 1 月 29 日 例会場 天童ホテル 通算 1370 回 本年度 26 回



## 会長挨拶 武山 茂会長



皆さんこんにちは、本日は講師として、寒河江 RC 所属、そして 2800 地区職業奉仕委員長の 鈴木一作氏をお迎えしております。私も鈴木委員長の『職業奉仕』のお話をこの数年で 3,4 回お聞きしました。こんなにも職業奉仕に精通し、深く勉強なさってる方に大きな感銘を覚えたものでございます。今後も多くのロータリアンに“職業奉仕”を伝えて頂きたいと思います。

さて、昔宝くじのお話をしたかも知れませんが、兄の娘の結婚式で東京に行きまして、都内で一番売れている宝くじ売り場に行きました。10 軒の中には 2～300 人以上並んだ店が数軒ありました。聞く所によると 5 万、10 万と買う方がたくさんいるとのこと。話は変わって、楽天の『田中将大』投手がヤンキースと 7 年 161 億円で契約したとありました。その金額は、宝くじで言えば 3 億円を 54 回当てた事になります。それも運ではなく 25 歳で実力で勝ち取ったものですから、凄いと云うほかに有りません。その幸せと同僚の重圧や結果を出さねばと言う覚悟の大きさを多くの関係者や評論家が言っておりました。私なんかは余り心配しておりません。武道家や一流のプロのスポーツ選手は、ここでスイッチを切りかえる部分を持っていて、やりこんだ練習を自然体で出す境地です。

ロータリークラブも、水曜の 12:00 でロータリーモードに成りましょう。

## 委員会報告

・高橋会計

後期会費宜しく願います。

## 出席報告 伊藤則雄 委員

本日会員 50 名 (48 名) 出席者 38 名 出席率 79.16%

前々回出席率を 72.91% に修正いたします。

## ★本日のプログラム★

映 画 [先生、ありがとう]

鈴木一作 氏

(寒河江 RC)



私たち地域の仲間 8 人 (ロータリアン 4 名とその奥様達) で制作した映画

「先生、ありがとう」の上映会を、平成 22 年 11 月に寒河江市民文化会館で開催しました。おかげさまで上映中の約 2 時間、ほぼ満席の会場には笑いも涙も絶えませんでした。その後、西川町、朝日町、天童市、鶴岡市、南陽市、河北町などで地元のロータリアンや友人らに支えられて無料上映会をしてきましたが、どの会場でも多くの人から「とても感動したよ」と声をかけられました。

映画のテーマは、「子どもは宝、子どもは希望、子どもは未来」です。脚本は私の子ども時代の恩師との様々なエピソードを下地に作ったもので、その多くは、私が読売新聞県内版に連載してきた「インク壺」に書いてきた内容です。もちろん、スタッフも出演者も全員が素人です。撮影や編集の失敗談には事欠きません。結局、完成まで 2 年もかかりました。

また、学校が舞台の映画なので、地元の教育委員会や学校の協力も必要でした。それには、内容が学校教育の助けになることはもちろん、出演や支援など、地域に数多くの協力者がいることも大切です。もちろん前者には自信はありましたが、問題は後者です。「あがすけ」を嫌う土地柄のせいも、脚本の中身は評価してくれても、出演を快諾してくれる人がいないのです。早くも頓挫かと悩んでいたら、そこに“女神”が現れました。

「鈴木さんは、千葉県から来た人だ。その人が絵本の読み語りにしても、今回の映画作りにしても、地域の子どものために頑張っているんじゃないか。

(裏面につづく)

(前面より)

山形県で生まれ育ったおまえが、なぜ手伝わない」 - 。こう言って、年老いた母親が 50 歳を過ぎた息子をたしなめたというのです。実は、この方(池田郁太郎氏)の名演技のおかげで、出演を了解してくれる人が増えたのです。

先ず、脚本の中でも特に感動的なシーンから撮影を始め、それらを編集したDVDを見せながら、出演者や支援者を募りました。その後、映画の内容や我々の情熱を意気にかけてくれる人が徐々に増え、しまいには寒河江の市長や教育長も出演してくださいました。気がつくと、出演者は子どもと大人で約 300 人。支援者も入れれば 500 人以上の方々が、この映画作りに協力してくれたのです。

この度、2013 福岡インディペンデント映画祭で映画「先生、ありがとう」の上映が決定し、しかも『企画賞』をいただくことになりました。受賞理由は、「映画の撮影や演技に多少の未熟さはあっても、テーマと演出表現を高く評価したい」という内容でした。

ロータリークラブで奉仕の精神を学び続けて 20 年、こうして 57 歳の新人監督が誕生したのです。今後も県内外の各地で、無料上映会を続けて行きたい存じます。

< 参考 > <http://www.fidff.com/com/2013-097.html>

